



Antonio Busiello (アントニオ・ブシエロ) / Getty Images

カツオ・マグロ類の地域漁業管理機関 (RFMOs) がコンプライアンス遵守プロセスを強化する方法

世界で最も貴重な魚種資源の管理を改善するツールキット

概要

地域漁業管理機関 (RFMO) は、世界の貴重な共有商業漁業、すなわち各国の海域として定められている法的な境界を越える種 (マグロやサメなど) の漁業を管理し、漁獲量や漁獲方法を規制している。残念ながら、RFMOのメンバーである漁獲国は、必ずしもルールを遵守していない。このような深刻な違反が繰り返されると、RFMOの持続的な漁業管理能力が損なわれかねない。

この課題に対処するため、国際的な専門家グループは、会員のコンプライアンスを見直し改善するプロセスを強化し、効果的に実施するためのアプローチとガイダンスをRFMOにもたらすツールキットを策定した。¹

このファクトシートは、既存のRFMOの実践と、The Pew Charitable TrustsがInternational Seafood Sustainability Foundationと共同で2020年と2021年に開催した3つの専門家ワークショップと2つのウェビナーの成果に基づいて作られた、ツールキットの主要勧告の概要を示すものである。

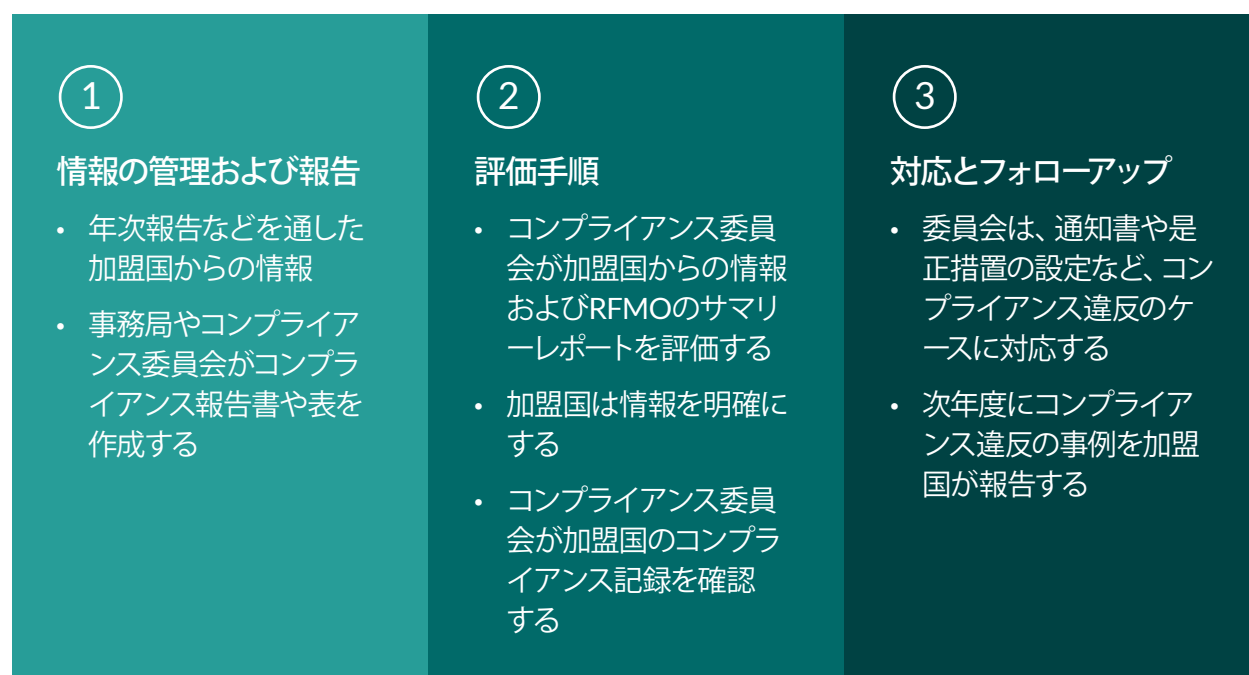
RFMOコンプライアンス査定プロセスとは

コンプライアンス査定プロセスは、RFMOの保全・管理措置の実施に関するあらゆる側面に言及する。RFMOには通常、コンプライアンス委員会などの組織がある。そこではメンバーの規則遵守の監視や、必要とされる管理措置の実施に伴う問題の特定を行い、新しい対策の導入を含む解決策を推奨することを任務としている。RFMOコンプライアンス査定プロセスは通常、3つの主要な手順で構成される（図1参照）。

- 船舶間の漁獲物の積み替え、漁獲量・漁獲努力量データ、混獲情報など、関連情報を収集する。
- コンプライアンスを査定し、評価する。
- コンプライアンス違反の結果を確立する。

図1

効果的なコンプライアンス査定プロセスにおける重要な3つの手順 RFMOモニタリング要領の主な段階



出典：H. Koehler著、「マグロRFMOコンプライアンス査定プロセス：成功事例を特定する比較的分析（第7版）」ISSF技術レポート2022年5月（2022）、<https://www.issf-foundation.org/downloads/28919/?tmstsv=1675784469>

© 2023 The Pew Charitable Trusts

RFMOは、コンプライアンス査定プロセスを強化するための重要な手順を踏むことができる。たとえば、いくつかのRFMOはコンプライアンスデータを収集、分析、報告するための電子的手法を確立している。他のRFMOは、正式なコンプライアンス基準を策定し、管理手法の年次審査に優先順位を優先することで、さまざまな種類のコンプライアンス違反の影響を判断している。一部のRFMOは、透明性を高め、効果的なコンプライアンス査定の能力を強化している。

この継続的な作業の指針として、ツールキットは効果的なコンプライアンスモニタリングのための包括的な原則を確立し、RFMOのコンプライアンスの体制を強化するための包括的な勧告を提供し、RFMOの現在の査定プロセスを評価する方法論を概説している。

効果的なコンプライアンス査定プロセスの原則

適切な設計されたコンプライアンス評価プロセスは以下の特性を備える。

- **公正、公平であること。** 査定には一貫性があり、明確なルールに基づき、すべてのメンバーが自らの能力に応じて参加する機会が平等に与えられるものとする。
- **合法的であること。** すべてのRFMO加盟国はコンプライアンス評価手順について、RFMOの目的を達成するための主要なツールであると認識し、罰則を課することが目標ではなく（場合によっては必要だが）、RFMO全体のパフォーマンスを向上させることを目標としてメンバーが義務を果たすためのサポートを行う。
- **透明性があること。** すべてのRFMO加盟国は、コンプライアンスプロセスをよりオープン、公正、公平かつ効果的にするために誠実に活動するものとする。
- **目標があること。** RFMOは、RFMOの成功に最も必要な要件についてのコンプライアンス査定を優先し、必要な場合には、コンプライアンス違反の程度に対して相応の対応を取るものとする。
- **効果的であること。** コンプライアンス委員会は、短期的な実施上の問題を特定して対処するとともに、長期的な傾向をモニタリングし、厳格なフォローアッププロセスを適用して、加盟国の対応で効果的にコンプライアンス違反が減少することを確認するものとする。
- **効率的であること。** RFMOは、電子的またはオンラインプラットフォームを通じたコンプライアンス業務の実施などにより、加盟国政府の不要な管理負担やコストを最小化するものとする。
- **協力的であること。** コンプライアンス委員会は、RFMO内部、RFMO間、および他の組織との連携を促進し、情報交換を増やし、基準やプロセスの調和を図るものとする。

RFMOコンプライアンスに向けた勧告

RFMOでの原則の適用を支援するため、ツールキットでは以下の10のコア・アクションで要約される推奨事項のリストを提供するものとする：

- 1. 必要な制度的枠組みやガバナンスルールを確立する。** RFMOが、既存のRFMOの枠組みの中で、コンプライアンス委員会などの明確で独立したコンプライアンス機関を通じて査定プロセスを開発し実施することを保証する。また、RFMO事務局が、コンプライアンス査定プロセスにおいて加盟国を効果的に支援する適切な権限を有することも保証する。
- 2. 施策の質と適用性を高める。** RFMOの措置やルールを見直し、重複や矛盾を取り除き、明確性を高め、保全と管理措置の進捗を評価する監査点を定めることなどにより、実施を改善する。可能な限り、簡単なコンプライアンス評価プロセスを自動化する。
- 3. コンプライアンス査定に使用する情報が適切な質と量であることを確実にする。** 漁獲量、場所、時間など、コンプライアンス評価の基礎となるデータに優先順位を付け、データが高品質、タイムリー、正確かつ検証可能であることを確実にする。RFMO以外のソースからの関連データを、可能な限り使用する。
- 4. データの照合、分析、提示を改善する。** データベースの管理と情報の提示を強化できるテクノロジーソリューションを導入すべくRFMOのルールを見直し、変更を提案する。RFMO事務局および加盟国は、コンプライアンス査定のために、理解しやすく利用しやすい情報を提供する。
- 5. コンプライアンス査定のプロセスを明確化し、効率化のためのツールを導入する。** コンプライアンス違反やルール違反のうち、早急な対応が必要なものを優先し、その他のコンプライアンス問題に対処するスケジュールも明確にする。
- 6. 意思決定ルールがこう着状態を発生させないことを確実にする。** RFMOの従来のコンセンサスに基づく意思決定を見直し、非準拠加盟国への対応を妨げないようにする。例えば、審査中の加盟国も違反の可能性および関連するRFMO措置についての意思決定に参加できるようにする。
- 7. コンプライアンス違反に対する効果的な影響や適切な対応策を確立する。** 様々なレベルのコンプライアンス違反に対して適切かつ相応の結果評価をするとともに、コンプライアンスの失敗を解決するために加盟国がとった措置をモニタリングして報告するための強固で透明な仕組みを策定する。
- 8. 能力開発支援メカニズムを構築する。** 加盟国の個々の能力開発ニーズの特定を支援し、RFMO内外からの資金を最も支援を必要とする国々に振り向けることを支援する。この目的のために、漁業者などからの特別な寄付による資金を確保し、能力開発プログラムの実施と効果をモニタリングする。
- 9. RFMO間の協力関係を改善する。** たとえば、情報検証の改善、データシステムの一元化、報告要件の調和を図るためにRFMO間のデータ共有と協力を促進する。RFMO間の覚書を作成し、様々なRFMOのスタッフ間で情報や知識の非公式な共有を奨励する。
- 10. RFMOのコンプライアンス査定プロセスを定期的にモニタリングして評価する。** コンプライアンス体制と委員会活動の定期的な見直しを行い、効果的な実施を確保するとともに、重要指標の採用や追跡など、改善すべき点を明らかにする。

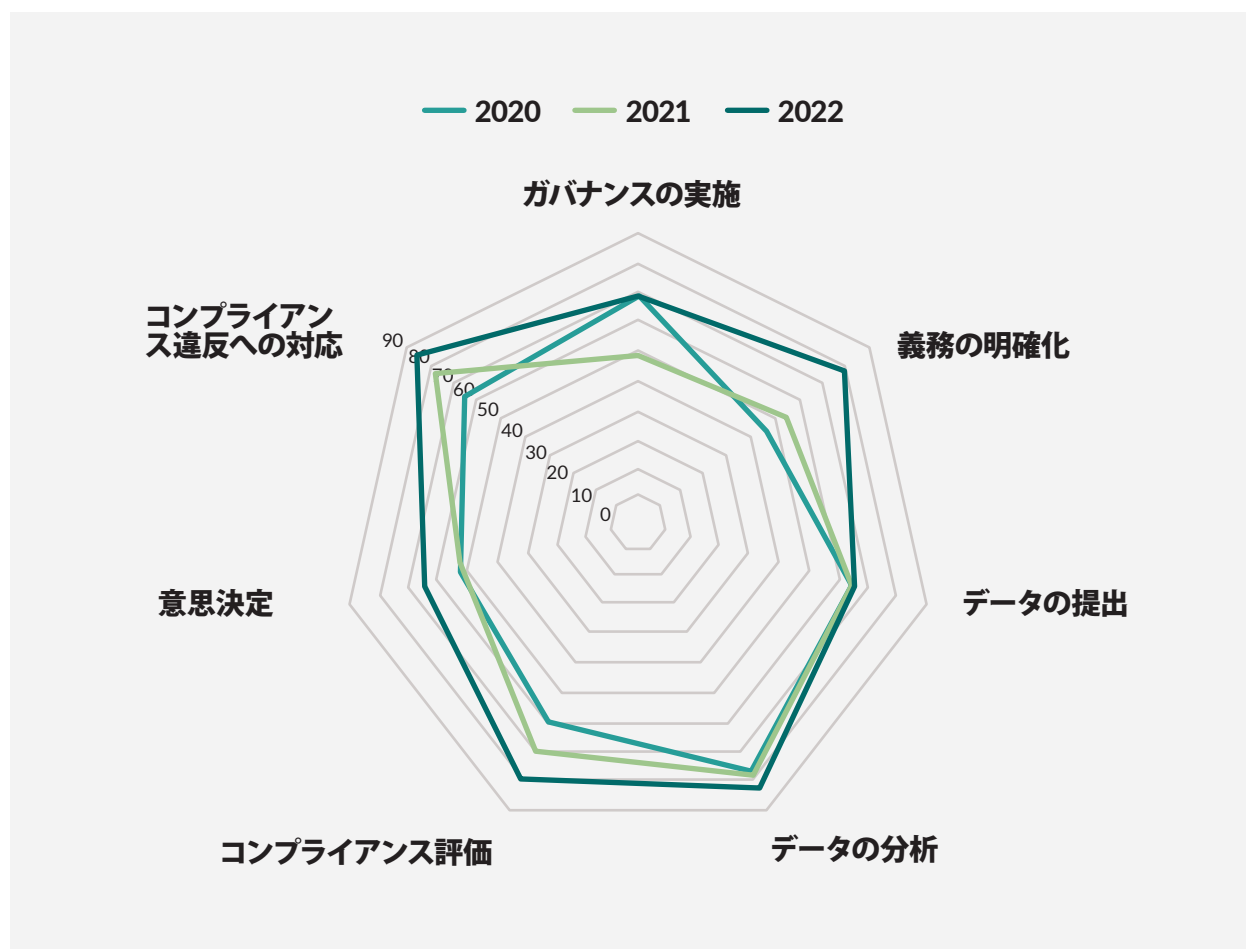
RFMOの評価は進捗を確実にする上で重要である。

RFMOは、プロセスの業績を定期的に（たとえば2年ごとに）モニタリングし、改善の取り組みが正しい方向に向かっていることの確認や調整を行うことで、コンプライアンス査定プロセスを効果的に強化できる。ツールキットは、基本的な指標を使用して、RFMOコンプライアンス委員会の運営を評価するための簡単な方法を提供する。評価者は、各指標のスコアを「スパイダー」チャートに入力し、コンプライアンス査定プロセスの利点や弱点を視覚的に表現できる。（図2を参照。）

図2

RFMOは簡素化した指標を用いてコンプライアンス査定プロセスを評価し、改善する

架空のコンプライアンス委員会の運営について利点や弱点を表したグラフサンプル



注：この評価では架空のRFMOが2020年から、コンプライアンス委員会の査定プロセスの運営の要素で徐々に改善が見られていることが表されている。しかし、意思決定、ガバナンスの実施、データの提出など、比較的低いスコアが低い指標には、さらなる注意が必要であることを示している。コンプライアンス委員会は、ツールキットの関連する勧告を参照してこれらの弱点に対処できる。

RFMOとその加盟国は、コンプライアンス査定プロセスを速やかに評価し、特定の優先事項、利点や弱点に基づき、ツールキットから関連する原則と推奨事項を取り入れ、その能力を向上させるものとする。これらの取り組みの一環として、RFMOは協業し、コンプライアンス査定メカニズムの評価と強化における最良事例と発展に関する知識を共有しなければならない。RFMOは、Pewを含む非政府組織やその他の外部の団体や個人が提供する支援も活用するものとする。

まとめ

すべてのRFMOは、コンプライアンスツールキットを、加盟国のコンプライアンスを支援し、改善する取り組みのための重要な要素と位置付けて活用できる。そのことにより、全体的な能力を強化できるだけでなく、世界共有の漁業をより適切に管理することが可能になり、世界の水産物市場が必要としている持続可能性の保証が提供される。

巻末の注

- 1 RR. Day et al., "Approaches to Evaluate and Strengthen RFMO Compliance Processes and Performance. A Toolkit and Recommendations"(The Pew Charitable Trusts and International Seafood Sustainability Foundation, 2022), <https://www.pewtrusts.org/-/media/assets/2023/07/approaches-to-evaluate-and-strengthen-rfmo-compliance-processes-and-performance-a-toolkit-and-recomm.pdf>.

詳細については、次のウェブサイトを参照：
pewtrusts.org/internationalfisheries

The Pew Charitable Trusts

連絡窓口：Leah Weiser (リア・ワイザー)、コミュニケーションマネージャー

電子メール：lweiser@pewtrusts.org

プロジェクトウェブサイト：pewtrusts.org/internationalfisheries

創立75周年を迎えた**The Pew Charitable Trusts**はデータを活用して変化をもたらします。Pewは、問題を明らかにし、共通の基盤を生み出し、具体的な進展につながるプロジェクトを意欲的に推進することにより、変化を続ける世界の課題に取り組んでいます。